

HP Connect-It

ソフトウェアバージョン : 4.0

リリースノート

ドキュメントリリース日 : 29 April 2009
ソフトウェアリリース日 : April 2009



法的制限事項

Copyright Notices

© Copyright 1994-2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア。

所有、使用、コピーには、HPによる有効なライセンスが必要です。

FAR 12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

商標

- Adobe®, Adobe logo®, Acrobat® and Acrobat Logo® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Microsoft®, Windows®, Windows NT®, Windows® XP, Windows Mobile® and Windows Vista® are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered trademark of Oracle Corporation and/or its affiliates.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

はじめに	5
1. 本書の内容	7
2. 新規機能	9
HP AutoPassを使用したライセンス管理	9
マニュアルに関する注意事項	10
アプリケーション	10
3. 改善された問題点の一覧	13
履歴 - バージョン4.0	13
履歴 - バージョン3.91	14
4. 最終変更	15
5. 既知の問題、限界と回避策	17
インストール	17
6. 廃止されたサポート	19

7. お問い合わせ先	21
8. 追加のCopyrights	23

はじめに

このリリースノートの内容はConnect-It 4.0の新規機能の概要です。本書には新規機能と4.0で修正されたバグが記載されています。

1 本書の内容

本書の内容は以下の通りです。

- 追加された新規機能の概要
- 改善された問題点の一覧
- 詳細についてのHewlett-Packardのお問い合わせ先

2 新規機能

HP AutoPassを使用したライセンス管理

初めて使用するユーザの方へ：

Connect-Itを継続して使用できるように、60日の試用期間が終了する前に、永続的なパスワードを入手し、インストールしてください。永続的なパスワードは、<http://www.webware.hp.com> [<http://www.webware.hp.com>]にアクセスしてオンラインで入手できます。なお、この処理を完了するには、オーダー番号を提示する必要があります。

アップグレードするユーザの方へ：

HP標準のAutopassテクノロジーにアップグレードするためには、新しいライセンスキーを入手する必要があります。このライセンスキーは、以下の手順で入手してください。

- オンラインサポートWebサイト<http://support.openview.hp.com> [<http://support.openview.hp.com>]にアクセスします。
- 問題報告の下にあるリンクサポートケース登録をクリックします。
- HP PassportのユーザIDとパスワードを使って、サインインします。HP Passportの認証情報がない場合は、先に登録してください。
- **Non-Technical/business**セクションでサポートケースを送信し、**Licensing**問題カテゴリを選択します。

- ライセンス要求を、処理画面に従って入力します。
- アップグレードオーダーキーと、その後の手順を記載した電子メールを受信します。

マニュアルに関する注意事項

注意:

付属のConnect-Itのオンラインヘルプは、HTMLファイル形式でコンパイルされています。このオンラインヘルプを表示するには、Internet Explorerバージョン4.0（またはそれ以上）がインストールされていなければなりません。Internet Explorerバージョン4.0（またはそれ以上）がインストールされているにも関わらず、オンラインヘルプを起動できない場合は、システムに重要なdllファイルが足りない可能性があります。コンパイル済みHTMLヘルプの実行に必要なコンポーネントの詳細は、MicrosoftのWebサイト<http://www.microsoft.com>を参照してください。

アプリケーション

以下の分野で問題点が改善されています。

注意:

かっこで囲まれたコードは、要求された機能変更を示します。

バージョン4.0

ライセンス

共有されていたAutopassコンポーネントが、非共有の製品に変更されました。AutopassはConnect-Itに組み込まれました。

名前の変更

- Microsoft SMSがMicrosoft SCCMに変更されました。
- IBM MQSeriesがIBM WebSphere MQに変更されました。
- CA AMOがCA Unicenter DSM（Desktop and Server Management）に変更されました。
- EDがDDMI（HP Discovery and Dependency Mapping Inventory）に変更されました。

任意管理項目

- パスワードの暗号化：独自のアルゴリズムを使用してパスワードを暗号化していましたが、標準的なアルゴリズムに変更されました。そのため、このリリースで開発したシナリオは、以前のバージョンのConnect-Itで開くことができません。また、5.11より前のバージョンを使用するHP Asset Manager接続については、HP Connect-It製品が初めてインストールする際には、Asset Managerインタフェースのみで接続の作成と更新を行う必要があります。
- XMLSchema：名前空間と修飾について完全なサポートが実装されました。これは、スキーマに設定されているelementFormDefaultおよびattributeFormDefault情報とそのインポートスキーマを処理することで実現しています。
- IPv6：Connect-ItエンジンをIPv6環境で実行できます。IPv6を使用できるようにするには、Advanced Options/Generalで関連するConnect-Itオプションをオンにする必要があります。コネクタに対するサポート内容は、コネクタによって異なります。FTP/HTTPプロトコルを使用するコネクタは完全に対応しています。
- RESTful公開：一連のコネクタは、その管理データをHTTPを介して直接公開できます。この機能は、XML Listenerコネクタに置き換わるものとして導入されました。
- Connect-Itプラットフォームからコネクタ/シナリオの非同期リリースが可能：そのリリースからはIntegration Packメカニズム取り除かれて、プラグイン機能で置き換えられます。新規または更新されたコネクタおよび統合は、グラフィック表示のシナリオエディタを使用して、配布パッケージからインストール環境に直接インポートできます。

新規コネクタ

- DCIM (Data Center Infrastructure Management) コネクタ
- SAP Webservicesコネクタ
- RESTfulクライアントコネクタ
- モニタ/ステータスコネクタ

コネクタの更新

- OVSD 4.5コネクタ：バージョン4.5 SP23のサポート。OVSD4.5 SP23用のACESファイルを追加。
- Lotusコネクタ：バージョン8.0のサポート
- WebSphere MQコネクタ：バージョン6のサポート
- 区切りテキストコネクタ：書き込みファイルの名前を動的に生成する機能。
- LanDeskコネクタ：バージョン8.8のサポート
- WebServicesコネクタ：生成ドキュメントタイプの編集時に取り込みドキュメントの値を指定することが可能(データジェネレータコネクタをソースとして使用する必要はありません)。

統合

- Service Managerの統合がバージョン7.1xに更新
- SAPからAsset Manager 5.1xへの統合が更新

3 改善された問題点の一覧

Connect-It 4.0で修正された欠陥点は、以下の表にまとめられています。

表には2つの見出しがあります。

- バグ番号：欠陥番号：この番号を使って、問題がこのリリースで修正されているかどうかを簡単に確認できます。
- 説明：問題に関する簡単な説明です。

履歴 - バージョン4.0

バグ番号	説明
AM317173515	Connect-It3.9 AC：コレクションのコレクションアイテムが表示されない。
AM316183630	Connect-It3.81：ED=>AC5.02 - キーセット2のエラー：複数のレコードが照合更新キーセットの値に一致するが、APIでは、必ず最後のレコードが使用される。
AM12617189	SCドキュメントの生成時にXML解析エラーが発生する。
AM1023161846	Connect-Itによって生成されたxmlの最後の行に関する動作が、Connect-It 3.7.1とConnect-It 3.8で変更されている。
AM1015184432	パワーユーザがConnect-Itを起動するときにエラーが発生する。
AM32715290	ソースコネクタから生成されたドキュメントの一部ではないファイルを、ターゲットコネクタで取り込まれるドキュメント（ファイルのイメージなど）に添付する機能。
AM913154133	別の添付電子メールを含む電子メールから添付ファイルを取り出すときに、その添付ファイルが生成されない。

バグ番号	説明
AM219181512	Webコンソールでエージェントへの接続をテストするときに、別のソケットが開かれている。
AM81114546	OCI 8によるOracle CLOBおよびBLOBの転送が正常に動作せず、データが切り捨てられる。
AM317133133	Connect-Itがアルゼンチンの今年のDSTに対応していない。
AM326192722	スペース文字がない。
AM52918528	特定のカスタマデータベースで、トラップエラーと奇妙なエラーが発生する。

履歴 - バージョン3.91

バグ番号	説明
AM1013201553	メモリ構造はコレクションであることが必要。
AM1121145121	生成ドキュメントのフィルタがField <>"のときに、ドキュメントが生成されない。
AM1216183717	パネル"Define post-processing actions"の"Move to folder"を変更できない。
AM125174048	Connect-It3.7 : Connect.Itシナリオにメモリリークがある。
AM129235059	新規データベースでVIMの問題 - Connect-Itがクラッシュして終了する。
AM1119161028	プロキシユーザとパスワードのフィールドがXMLコネクタで暗号化されていない。
AM112015310	XMLの名前空間： Connect-Itが「デフォルト」のパス（XSDで宣言）と、xmlコネクタから与えられたパス（コネクタの構成）を使用する。
AM1121135512	Connect-It3.71では、シナリオの実行時にコストセンタと任意管理項目の値が作成されるが、Connect-It3.81およびConnect-It3.9では作成されない。
AM1124105252	Lotus Notes（VIM）では、メール受信コネクタがEメールに読み取り済みのマークを付けない。解決策： Connect-Itを使用してLotus Notesのメッセージを同期させる場合は、回避策として"Delete email messages from server"をオンにします。Eメールは、処理が終了すると削除され、ごみ箱に入れます。そのEメールに読み取り済みのマークを手動で付けてから、ごみ箱から受信箱にEメールを移動してください。
AM1128105344	AM51\esscat\status.scnに対してAM51のお気に入り間違っている。
AM1181239	値が引用符で囲まれたdsc CSVが、期待どおりにサポートされていない。
AM121010931	Connect-It3.81 : Altirisコネクタ - エラー : 'SELECT a3.Subnet FROM <tablename > a3 WHERE (@{WrkstaID.WrkstaID} = a3.WrkstaId)'という行の式を評価できない。
AM1217174545	コードページ1252がサポートされていない。
AM1292371	500回のスケジュール反復の後で、シナリオが動作を停止する。
AM16183622	SMTP Eメールでの、Eメール返信タグの二重引用符。
AM18144643	ACコネクタで取り込みを並列化すると、ログインの失敗数が増加し、パスワードの認証時にログイン失敗エラーで終了する。
AM325161527	Lotus Notes 7のアップグレード後に、Lotus NotesおよびEメール受信コネクタが正しく動作しない。

4 最終変更

このセクションでは、他のマニュアルには記載されていない最終変更について説明します。

5 既知の問題、限界と回避策

このセクションでは、Connect-Itの使用に影響する既知の問題と限界、またその回避策について説明します。

インストール

- HP-UXの場合は、以下の内容をconit.iniに追加する必要があります。

```
[DLL]  
JNI=/opt/java1.5/jre/lib/IA64N/hotspot/libjvm.so+
```

- バグAM424163624が原因で、マシンの再起動が必要になる場合があります。

6 廃止されたサポート

以下の製品は、4.0リリースでサポートされていません。

- CA Unicenter AMO 3.1および3.2
- HP Desktop Inventory 7.x、8.0
- HP Network Discovery 5.1および5.2
- Lotus Notes 5.x
- IBM Tivoli Enterprise Console 3.6および3.7
- Lotus VIM 5.x、6.x
- IBM MQSeries 5.1および5.2

7 お問い合わせ先

Connect-Itの本バージョンに関する詳細な情報やサポートについては、HPのカスタマサポート (www.hp.com/go/hpsoftwaresupport) で承っております。

8 追加のCopyrights

この製品には、**Apache Software Foundation** (<http://www.apache.org>) が開発したソフトウェアが含まれています。

また、**Connect-It**には、サードパーティのソフトウェアコンポーネントも含まれており、その中には特定のソフトウェアライセンスが必要なものもあります。このセクションでは、その著作権情報の全体を転載します。

ここに記述がない場合は、ライセンスの完全なテキストが、**Connect-It**インストールCD上のテキストファイルとして提供されています。

ServiceCenterコネクタ

ServiceCenterコネクタに必要なサードパーティライブラリの中には、**Connect-It**に付属しているものもあります。

ライセンスは、**XercesC_2_5_0-license.txt**、**XercesC_2_0_0-license.txt**、**unicode_LGPL.txt**、**gcc-license.txt**の各ファイルで提供されています。これらのライセンスファイルは、**Connect-It**のインストール先ディレクトリのサブディレクトリ**bin/sc60**および**bin/sc61**（**Windows**の下の**bin32/sc60**および**bin32/sc61**）内の、それぞれのライブラリの隣にあります。

Expat 1.95.1

Open Source Software

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

以下に定める条件に従い、本ソフトウェアおよび関連文書のファイル（以下「ソフトウェア」）の複製を取得するすべての人に対し、「ソフトウェア」を無制限に扱うことを無償で許可します。これには、「ソフトウェア」の複製を使用、複製、変更、結合、掲載、頒布、サブライセンス、および/または販売する権利、

および「ソフトウェア」を提供する相手に同じことを許可する権利も含まれません。

上記の著作権表示および本許諾表示を、「ソフトウェア」のすべての複製または重要な部分に記載するものとします。

「ソフトウェア」は「現状のまま」で、明示であるか暗黙であるかを問わず、何らの保証もなく提供されます。ここでいう保証とは、商品性、特定の目的への適合性、および権利非侵害についての保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。作者および著作権者は、契約行為、不法行為、またはそれ以外であろうと、ソフトウェアに起因または関連し、あるいはソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じる一切の請求、損害、その他の義務について何らの責任も負わないものとします。

LDAP Netscape Libraries 4.1.2

Connect-Itは、LDAP Netscape Libraries 4.1.2を使用しています。このライブラリは、Netscape Public Licenseバージョン1.1に制約されます。オリジナルのコードに変更は加えていません。

Netscape Public Licenseバージョン1.1は、Connect-Itのインストール先バイナリフォルダ内の当該ライブラリの隣にあります。その名前はNPL-1.1.txtです。

Zlib

Connect-Itは、Jean-Loup GaillyおよびMark Adlerによって開発されたZlibライブラリ (<http://www.zlib.org>) を使用しています。

ダイナミックライブラリ

Connect-Itは、ODBCおよびVisual C++の動的ライブラリを使用しています。

OpenLDAP

OpenLDAPはOpenLDAP Foundationの登録商標です。

All rights reserved, LDAP, openLDAP

OpenSSL

この製品は、OpenSSL Projectによって開発されたソフトウェアを含んでおり、OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org>) で使用しています。

この製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号ソフトウェアが含まれています。

この製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。